

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 1 -

子どもの学びを充実する

目指す姿

- 学校で学んだことが、明日、そして将来につながっています。児童・生徒一人一人が、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動しており、それぞれに思い描く幸せの実現に向けて希望を持っています。そして、社会に出たとき、明るい未来の創り手となっています。

成果指標の達成状況

指標名		実績値					目標値
		計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
授業（国語、算数・数学） の内容がよく分かったと回 答した児童・生徒の割合	小学校	81.5%	82.4%				82.5%
	中学校	78.8%	77.7%				80.0%
自分には良いところがあ ると回答した児童・生徒 の割合	小学校	77.6%	80.0%				81.0%
	中学校	76.0%	80.2%				78.5%

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・ 確かな学力の育成を目指し、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた指導の一貫性を図るための学校間連携、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、活力ある学校づくりを推進するとともに、教員の指導力向上を図る研修を実施しました。
- ・ 研究授業を通して、教育指導のあり方や実践上の諸課題について研究協議し、授業改善や指導力向上に努めるとともに、発達段階に応じた教材を活用した授業の工夫や課題についての研修を行い、児童・生徒の心に響く道德教育の充実を図りました。
- ・ G I G A スクール構想の推進に向け、教員を対象とした I C T 活用研修会を実施しました。
- ・ 部活動の地域展開・地域連携に向けた取組として、中学校の部活動指導員を配置するとともに、

地域の教育資源を生かし、地域とともにある学校づくりを展開するため、学校運営協議会の設置校及び設置予定校への支援を行いました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・確かな学力の育成や生きる力を育むため、継続的かつ体系的に事業を推進することが必要です。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、児童・生徒の実態や地域の特性を生かして、学校、家庭、地域との連携・協働を推進します。
- ・小・中学校の学びの連続性を踏まえた道德教育を推進する必要があります。
小・中学校の連携を図りながら、公開授業を通した授業研究会等を実施します。
- ・教員のＩＣＴ活用指導力や授業力の向上を図る必要があります。
教員向けのＩＣＴ活用研修会の実施や指導者用デジタル教科書の効果的な活用方法を周知することで、授業の実践力向上を図ります。
- ・子どもたちの実態や地域の特性を踏まえ、各校・園が家庭や地域と連携を図りながら、特色ある教育活動を展開する必要があります。
学校運営協議会の段階的設置に伴い、地域の創意や工夫を活かしたふれあい教育や総合的な学習の時間等の取組を支援します。

関連事業

教育指導事業、授業づくり推進事業、GIGAスクール構想推進事業、生きる力を育む学校づくり推進事業、幼・保・小・中連携の推進事業、放課後自主学習教室事業、英語教育推進事業、子ども読書活動推進事業、道德教育推進事業、日本語指導協力者派遣事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	514,443			